

## 福岡県森林環境教育 北九州市立松ヶ江南小学校 (2021年6月17日)

奇跡のような梅雨の晴れ間で、無時に行事を終えることができました。松ヶ江南小学校は、周防灘に面した新門司にあります。(明治7年に恒見小として創立、現在に至る。) 4年生 97名の子供達と一緒に、校庭の樹木観察を行いました。開会式後の「もりもり体操」は、どんぐりの四季を体操にアレンジしたもので、子供たちは大喜びでした。



樹木観察では、子供たちの発見力に驚きました。観察する樹木につくとあっという間にいろんな小さいものを見つけ出します。イラガの繭の跡にダンゴムシが入っているのを発見すると、ダンゴムシのベッドかな〜と大騒ぎ。実は繭のカルシウムを食べてるのだそうです。

他のスタッフからも、楽しい報告をもらっています。

### ●タイサンボクの花弁の芳香

地面に落ちて茶色くなった花弁の、わずかな甘い香りを感じた数人の男子、

「いい香り〜お母さんにおみやげに持って帰りたい」

小4にしてオンナゴゴロをくすぐる術を持っているのかと驚きました。優しい子どもたちですね

### ●オスとメスの木について

ヤマモモやイチョウなどオスとメスの木が別々にあると話したところ、そーっと近づいてきた女子が恥ずかしそうに、

私の耳元で「オスとメスと別々で結婚できるの？」  
できるのよ〜鳥や虫たちが仲を取り持ってくれるからね云々と伝えました。か、かわいい・・・

子供達のフレッシュな感性、好奇心に、沢山の元気をいただきました。

スタッフ (赤松、大森、轟、中村、常藤、藤原、宮本、諸石、野見山)

